
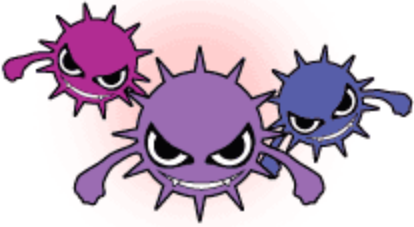


インフルエンザについて 少し考えてみよう!!

* インフルエンザとかぜの違い *

	ふつうのかぜ	インフルエンザ
種類		
原因	<ul style="list-style-type: none">・ ライノウイルス・ アデノウイルス・ コロナウイルス など	<ul style="list-style-type: none">・ インフルエンザウイルス
症状	<ul style="list-style-type: none">・ のどの痛み、鼻水、頭痛、くしゃみ、せき、発熱(微熱) など	<ul style="list-style-type: none">・ 激しい筋肉痛・ 40度に迫る高熱 など 症状の程度がかぜとくらべ格段にひどい
合併症	<ul style="list-style-type: none">・ まれにしかない	<ul style="list-style-type: none">・ 気管支炎や肺炎、脳炎、重症の脱水 など 重症化することが多い
感染経路	<ul style="list-style-type: none">・ 体液などを介する接触感染が主	<ul style="list-style-type: none">・ 患者のくしゃみや咳、痰などで吐き出される微粒子を介して感染する空気感染が主

* インフルエンザの予防 *

主な感染経路が空気ですから、インフルエンザがはやる時期に、集団のなかで活動することを出来るだけ控えた方が感染の機会を減らすことにはなりますが、なかなかそうもいきません。

そこで、インフルエンザワクチンの予防接種を勧めます。このワクチン接種で、二つの効果が認められています。

(1) 感染しても発症する確率を減らす。

(2) 発症しても重症化する可能性を減らす。

保険外診療になりますが、個人的な防衛対策としては、これに勝るものは有りません。

* インフルエンザにかかったかな?と思ったら *

インフルエンザがはやっている時期に、もし、寒気や発熱などの初期症状が起こったら、かかりつけの医師に診てもらいましょう。

インフルエンザの診断が確定した場合、発症から48時間以内であれば、有効な薬剤による治療が出来ます。但し、それ以上の時間が経過した場合、もはや根本的な治療法はなく、対処療法になります。その際に安易な解熱剤や意味のない抗菌剤の使用は、症状を遷延させるどころか、重症化の引き金になることがありますから適切な医師の指導に基づいて服用しましょう。

